

需要をみたす計画である。

第10表 産業別労働力需要と供給計画

(昭35~50)

		一 次 産 業	二 次 産 業	三 次 産 業	
総 需 要		43,000	308,000	289,000	
供 給	県 内	新 規 学 卒	43,000	114,000	115,000
		他からの転職非労働力の労働力化	-	115,000	132,000
		計	43,000	229,000	247,000
	県 外	-	79,000	42,000	

第三次産業においては、県内の新規学卒者115,000人、県内の第一次産業からの転職者36,000人非労働力の労働力化で96,000人、県外から42,000人を見込んでいる。学校種別ごとに新規学卒の供給計画をみたのが第11表である。

第11表 新規学卒の学校種別供給計画

(昭35~50)

		一 次 産 業	二 次 産 業	三 次 産 業
新 規 学 卒 総 需 要		43,000	118,000	123,000
県 内 供 給 計 画	中 卒	31,000	79,000	35,000
	高 校 卒	12,000	32,000	73,000
	大 学 卒	-	3,000	7,000
	小 計	43,000	114,000	115,000
県 外 供 給 計 画	中 卒	-	3,000	5,000
	高 校 卒	-	1,000	3,000
	大 学 卒	-	-	-
	小 計	-	4,000	8,000

(注) 一次産業は業主家族従業者である。二、三次産業は雇用者である。

第一次産業の新規学卒需要は、43,000人で、うち、中卒者を31,000人と見込み、高校卒業者を12,000人と見込んでいる。この新規学卒者は農家の業主または家族従業者で、いわゆる農家の後継者となることになり、農業近代化を担うにたる資質の向上が要求される。

中学校卒業後直ちに農業に従事することになる勤労青少年の農業技術の修得や一般教養の向上のための学習がつよく要請されることになり、農業教育を施す高等学校の教育内容、方法の高度化、これにともなう。近代的農業教育に適合した施設設備の拡充整備、需要に応ずる養成計画などが要請されることになろう。

第二次産業は、県内の中卒者79,000人、高校卒業者32,000人、大学卒業者3,000人を見込み、